

キヴォトスペ「THE METAL PERORO」プレイレポート

◆はじめに

このセッションプレイレポートは二〇二二年二月二七日に開催した、サタスペ×ブルーアーカイブ用の追加ルール「キヴォトスペ」を使用したシナリオ「THE METAL PERORO」のプレイレポートになります。

GMの都合で一部の誤字脱字や話の流れを修正してあります。予めご了承ください。
尚、再配布などのご自由にどうぞ。

◆目次

◆ 今回の生徒たち	2
▼ 最良 マヤ	2
▼ 隠形 レイ	2
◆ シナリオ概略	2
◆ 導入	3
◆ 1日目	9
▼ ゲヘナ中央運動場にて	14
◆ 期日	18
▼ 血戦	21
◆ アフタープレイ	27
◆ 終わりに	30

◆今回の生徒たち

▼最良 マヤ

ベージュシックカルマ…荒事屋

快活で義侠心に溢れる快傑漢女、その名はデイザスター・ジニー！

……と思い込んでいる、「教養」溢れるトリニティの図書委員少女。

自己暗示ながらもその実力は半端ではなく、【修羅場】となれば二挺の拳銃（という名のソードオフ）で回避不能の銃弾嵐を繰り出す前のめりな射撃アタッカー。

▼隠形 レイ

ベージュシックカルマ…荒事屋

スパイに憧れる系ギャルなゲヘナの女子生徒。

「犯罪」と「戦闘」に長けたバランス型であり、必要とあらば通気ダクトにすら潜り込み、ハ猿の手✓と【七つ道具】を縦横に使いこなし、【地獄耳】であまりにも適切な諜報活動を遂行する本職顔負けの実力者。

◆シナリオ概略

「マスコットロボを作ってほしいと依頼があつてね……」

シャーレ併設カフェへやってきた亜侠たちに声をかけたのは、キヴォトス屈指の発明家集団「エンジニア部」の部長、白石ウタハだ。

彼女いわく、外部からの依頼で自律走行するマスコットロボを作ることになったというのだが、その素材がどうしても足りないのだという。

部の支援要請ということでシャーレからも資金が出るらしいし、手伝ってあげるのも悪くはないだろう。

……しかし、マスコットロボにどうして大出力レーザー用のレンズが必要なんだ？

◆ 導入

DD…(*1) S.C.H.A.L.E本拠地、サンクトウムタワーからぐっと離れたシャーレオフィ
スに併設されたカフェ。

DD…君たち2人は、カフェでのんびりと過ごしている。

マヤ…カフェで『すなおになって、自分』って本を読んでいます。

レイ…お茶でもシバキながら、カフェのエアダクトとかを眺めています

DD…ではそんな感じで優雅な時間を過ごしていると……

白石 ウタハ（ウタハ）…「やあ、ちょっといいかな？」

レイ…「…？ウチらに何か」

マヤ…「あれ、ウタハさん？どうしました？」

ウタハ…「うん、じつは少し困っていることがあってね……」

ウタハ…「(*2)先生に相談したら、カフェにいる娘たちなら力になってくれるかも……と聞
いたんだ」

ウタハ…「よければ、話だけで聞いてくれないだろうか……？」と切り出します

2人の前にやってきたのは、ミレニアムの発明家集団「エンジニア部」部長、白石ウタハ。

自身「雷ちゃん」というタレットを繰り戦闘を行う、マイスター巨匠の1人だ。

マヤ…「…えっと、今の私はちょっと…その…」

マヤ…「なので、ごめんなさいレイさん、お話聞いておいて貰えますか？ 私は10分…い
え、5分もすれば用意が整いますから」

マヤ…「あつ、ごめんなさい、レイさんが仕事を受けるとは限らないですもんね…えっと、
どうしよう…」

レイ…「ぜんぜんいいよー、ウチは今暇だしね」

マヤ…「あつ、はい、それじゃあちょっと準備してきますね！」と一冊の小説を手にバタバ
タと駆けて行きます

レイ…「いつてらっさ〜」

レイ…「で、話って何よ？潜入調査？」

ウタハ…「ふふ、そこまで大したものではないさ」と笑いかけて近くのイスに座ろう

ウタハ…「簡単に言えば、素材探しを依頼したいんだ」

レイ：「素材探し？エンジニア部の素材探しってことはケーキの材料と違ってわけじゃないよねえ」

ウタハ：「もちろん。ついでに言えば、その難易度もケーキの比じゃないかもしれない」
ウタハ：「でも先生曰く、あの2人なら大丈夫だから！ ってね」

レイ：「へえ、先生に期待されちゃってるんだあ。じゃあ頑張らないわけにはいかないよねえ」

マヤ：「ふっふっふ…キヴオトスで難事件が起きていると言うのなら、私が行かない訳にはいかないわねッ!!」

マヤ：「という威勢の良い声が聞こえたかと思うや否や」



マヤ：「とシャーレのガラスをぶち破って、ガンマン姿の漢女が飛び出して来た！」

マヤ：「ディザスター・ジニー、ここに推参ッ!!」

マヤ：「とジャキイと二丁拳銃（切り詰めただけのM2ブローニングとカラシニコフ）を腕を交差させるように構えます」

ウタハ：「… 用意は整ったみたいだね」

マヤ：「当然ッ！ …それで肝心のターゲットはどこにあるの？」

ウタハ…「それが私にもわからなくて……うん、そこも含めて話そうか」

レイ…「まあ本気モードのウチらにかかれれば余裕っしょ」

ウタハ…「ふふっ、期待してるよ」

ウタハ…「さて、我がエンジニア部は(*3)ミレニアムや(*4)連邦生徒会の所有する機械、その一部の整備や開発を担当することがあるのだけど……」と少し自慢げに話します。

ウタハ…「その評判を聞きつけたらしく、学園外部から依頼が入ったんだ」

ウタハ…「『会場で使用するマスコットを、自律稼働するロボとして開発してほしい』とね」

ウタハ…「ミレニアムのマスターとして、こういった依頼を断るわけにはいかない。早速開発に着手した……のはいいのだけど」

ウタハ…「設計を進めてゆくうちに、どうもパーツが不足していることに気付いてね」

マヤ…「自立稼働するロボって……ミレニアムに任せたらあ(*5)寿司レンジャーの合体ロボみたいな作っちゃったりしないわよね……？」

ウタハ…「予算があればチャレンジしてみたいところだけど、今はまだってところかな」

ウタハ…「子供受けはいいと思うんだけど……」

ウタハ…「まあともかく、問題のパーツ……具体的には、警邏用装備である高出力レーザーのための焦点レンズ、その在庫がないんだ」

マヤ…「……………はいッ!？」

レイ…「なんか不穏じゃないそれ?」

マヤ…「いやいやいや、要らないでしょ!?! 変形とか合体とかするロボにならともかくマスコットにそんなレーザー要らないでしょッ!？」

ウタハ…「それは聞き捨てならないな。子供たちの安全を考えれば、マスコットという常会場に設置されているガードにそう言った機能を搭載した方が便利だと思わないかい」

マヤ…「警備とか警察とかって、キヴォトスじゃそういう類のものがあつたら守るべきその子どもが一番撃ち抜かれそうじゃないッ!!」

マヤ…「私だつて警察を名乗る(*6)キリノつてツイン三つ編みに14、5回は撃たれてるのに!」

レイ…「まやっちは心配しすぎっしょ、戦闘力はあつて困るもんじゃないってね」

ウタハ…「いいことを言うね。その通りさ」とレイさんに同意しよう

ウタハ…「それに、エンジニア部の名に懸けて、そういった事故が起きないように万全の対策を持って制作させてもらうつもりだ」

ウタハ…「高出力といつても、せいぜいが服を貫通して焦がす程度だし……」

レイ…「なるほどねえ、ちょっと頼もしい警備ロボくんになるのかあ」

マヤ…「…服って、装甲服を?」

ウタハ…「……その発想は確かに重要だね。なるほど、対象が装甲服を装備していた場合か」
マヤ…「しまった私余計なこと言ったッ!!」

ウタハ…「うん……なるほど、もう少し練り直す必要があるそうだ」と軽くメモを取り
ウタハ…「つと、それより部品の話だった」

ウタハ…「2人とも知っていると思うけど、(*7)今月の初めに大規模なハッキングと、それに伴うタレットの暴走事故があっただろう?」

ウタハ…「困ったことに、あれのせいで工場は稼働停止中……取り寄せようにも納品の予定は空白のまま」

ウタハ…「機体のテスト期間を考えると、明日の夜までには部品がないと厳しい……」
ウタハ…「とまあ、こういう状況なわけだよ」と話を締めます

レイ…「まあ、ウチらにかかれればちょよいのちよいだからねえ。安心して待ってればいいよお〜」

マヤ…「あー、あの事件でやられちゃった工場の所の部品かぁ。それじゃ工場跡地とか探しても無事なのは無さそうだし、地道に探す他無いわね」

レイ…「適当な工務店に潜り込んじゃう?仕入れの書類とか見ればわかるかなあ」

マヤ…「まあどこを探すにしてもまずは全体の情報を洗わなきゃね。データ媒体でのやり取りならうちのパソコン使えば多少は楽出来るだろうし」

ウタハ…「その辺りのやり方は一任するよ。先生が信じた2人だからね」

ウタハ…「もちろん、相応の報酬は用意させてもらうつもりだ」

ウタハ…「先生が言うには、『部の支援要請』という名目でシャーレから予算がでるらしい」

ウタハ…「そこから金銭的な報酬をこれくらい」と、人数分の札束に相当する金額を示す

ウタハ…「それから、マイスターとして武器の精度向上や機能追加の要望があれば、それにもお応えしよう」

マヤ…「まっかせてッ! これでもクラツッカー^{壊し屋}としての腕は(*8)ヴェリタスにだって負けてないんだからッ!!」

レイ…「さすがまやっち、頼りになるねえ」

ウタハ…「流石だね……それじゃあお願いさせてもらおうか」

マヤ…「今はジニー¹って呼んでよ!?

レイ…「ごめんごめんって」

こうして依頼を受諾した2人は、情報収集のために颯爽とカフェを飛び出した……。

(*1) S.C.H.A.L.E

連邦捜査部、通称「シヤール」。連邦生徒会長が立ち上げた部活で、各学園の生徒を制限なく加入させることはおろか、その自治区で制約なしに戦闘活動を行うことすらできる、一種の超法規的機関。設立目的は不明だが、現在は先生がその顧問に任命され、主に生徒や学校のトラブル解決のために動いている。

(*2) 先生

キヴォトスの外からやってきた「大人」。いわゆるプレイヤーキャラクターであり、外見や性別は不詳。生徒たちと違い、銃弾一発程度でも当たり所が悪ければ死んでしまう。趣味に大金を突っ込んで食生活を疎かにしたり、無理な仕事をため込んで過労死しかけたり、一部生徒の脚を舐めたり……と頼りないところもあるが、キヴォトスに生きる生徒の幸せを第一に願っている。

(*3) ミレニアム

ミレニアムサイエンススクール。科学技術に特化した学園であり、ウタハの所属するエンジニア部をはじめ、ハッカー集団やゲーム開発部、変わり種としてはメイド服の武力集団などを擁する。他校に比べて歴史は浅いが、その技術力により他の学校に引けを取らない影響力を持つとされる。

(*4) 連邦生徒会

キヴォトスの統治組織。キヴォトスそのものを管理する中枢部・サンクトウムタワーの制御権を持つ等、非常に強い力を持っているのだが、トップにあたる連邦生徒会長が消息不明状態であるため、現在はその搜索に手を取られて正常に機能していない。

(*5) 寿司レンジャーの合体ロボ

正式名称は「無限回転寿司戦隊カイテンジャー」。指名手配中の犯罪集団で、オオサカでいう罪狩のような存在。レンジャーの名の通り戦隊モノのような戦闘スーツ姿の5人組で、それぞれが銃火器で戦う他、ピンチになると「K A I T E N F X」なる巨大ロボを召喚する。

(*)6 キリノってツイン三つ編み

「ヴァルキューレ警察学校」の生活安全局に所属する1年生、中務キリノのこと。鮮やかに犯人を捕まえる姿に憧れて入学した熱意溢れる新人警官だが、早とちりが多いうえに射撃の腕は「犯人を狙うと必ず人質に命中する」レベル。

(*)7 今月の初めに…

ミレニアムの通信ユニットが正体不明のAーによってハッキング、自らを「8番目の預言者」であると主張し暴走……という内容の「総力戦(期間限定のボス戦イベント)」が二月二日～八日まで開催されていたことを踏まえた設定。

(*)8 ヴェリタス

ミレニアムの部活動の一つ。所属しているのは理系の多いミレニアムでも屈指の才を持つハッカーたち。真理ヴェリタスの守護者であり、知識を探求する正義のハッカー集団……を自称しているのだが、作中ではコンビニの店頭端末に無許可でレトロゲームをインストールしたり、自分たちの体重データを誤魔化すために学園のサーバをハッキングしたりと、あまり正義のハッカーらしい活動はしていない。

◆ 1 目 目

何はともあれまずは情報収集から。一番に動いたのはレイ。

レイ：情報収集行きます！ 実験室のダクトに潜り込んで極秘実験とか覗き見るぜー！
レイ：盗撮盗聴だし犯罪で調べます！

ということでS L 0にトンデモを置き、難易度5でリンク判定。【地獄耳】で必要成功度を下げたこともあり、手堅く3成功を収めると……

△BCDice：隠形レイ▽：Satasupe：情報イベント表／〔犯罪〕：7.あまりに適切な諜報活動。コストを消費せず、上位リンクを3つ得る

△BCDice：隠形レイ▽：Satasupe：タグ決定表 22：好きなタグ

タグ決定表 33：好きなタグ

タグ決定表 16：ヲタク(サ)

マヤ：ヒューッ！

DD：好きなタグ多いな！?

レイ：トンデモ、読書、ヲタクをS L 1に！

幸先の良い滑り出し。「実験室」の場所タグと一致するS L 1のトンデモを用いて再度リンク判定。その結果は……。

△BCDice：隠形レイ▽：Satasupe：【難易度5、ファンブル率1、必殺なし】 ↓ 1 [5 2] + 1 [3, 3] + 1 [9, 9] ↓ 成功度 3

△BCDice：隠形レイ▽：Satasupe：情報イベント表／〔犯罪〕：7.あまりに適切な諜報活動。コストを消費せず、上位リンクを3つ得る

△BCDice：隠形レイ▽：Satasupe：タグ決定表 31：アラサガシ(マ)

タグ決定表 63：ギャンブル(風)

タグ決定表 15：マニア(サ)

レイ：趣味がかぶらん！

マヤ：ウワーツ！ しかもギャンブルあるから繋がれる！

DD：まだ情報自体にはヒットしてないけど順調すぎる…

再びコストなしを引く順調ぶり。この勢いを殺すことなく、精神点2点を「気合でブースト！」し、SL2ギャンブルからジャンル一致で難易度9のリンク判定に挑むと……

△BCDice：隠形レイ△：Satasupe：【難易度9、ファンブル率1、必殺なし】 ↓ 0 [1 5] + 0 [1, 6] + 1 [9, 5] + 1 [5, 5] + 1 [5, 6] ↓ 成功率3

△BCDice：隠形レイ△：Satasupe：情報イベント表／「犯罪」：7.あまりに適切な諜報活動。

コストを消費せず、上位リンクを3つ得る

△BCDice：隠形レイ△：Satasupe：タグ決定表 24：読書(A)

タグ決定表 45：ハイソ(休)

タグ決定表 44：同一タグ

あまりに適切な諜報活動。三度コストなしで3つのタグを入手する。

更にSL3ギャンブルから上へ伸ばそうと四度目のリンク判定に挑むが、難易度10は流石に一筋縄では行かず、1成功でSL4にエクストリームを取得して行動終了に。

レイ：ダクト内からシャーレでの怪しい研究を激写！

研究で使ってたレンズの書類とかの写真を撮っちゃうぜー！

レイ：その情報を携帯電話で相方にお伝えして行動終了！

DD：はい 情報の足掛かりが大量すぎる…

レイ：びっくりしちゃった

マヤ：まあ読書とギャンブル(同一タグ)がある以上こっちでぶち抜く用意はあるッ！

レイ：いえー！

マヤ…って訳でアジトに戻ったらシャーロックホームズを読みまして

マヤ…レイからの電話で得た情報をもとにまずはSL3の読書タグから！

マヤ…ノートパソコンとパソコンで難易度は、2されて6！

頼れる味方からの情報提供とパソコンを用いた情報収集によってダイスは景気良く回り、4成功をもぎ取って引き当てた教養イベントは……。

△BCDice：最良マヤ△：Satasupe：情報イベント表／〔教養〕…11…図書館で幻の書物を発見。上位リンクを8つ得る。キャラクターシートのメモ欄にハクトウルフ神話知識△、SA Nと記入し、それぞれ後ろに+5、-5の数値を書き加える

レイ…うおー！

マヤ…いあいあ

△BCDice：最良マヤ△：Satasupe：タグ決定表 15…マニア(サ)

タグ決定表 41…アウトドア(休)

タグ決定表 23…トレンド(ア)

タグ決定表 66…情報ハプニング

タグ決定表 46…旅行(休)

タグ決定表 21…音楽(ア)

タグ決定表 45…ハイソ(休)

タグ決定表 23…トレンド(ア)

マヤ…ハプニング!?

DD…だがアウトドアで情報は抜いている！

回りすぎたか厄介なイベントまでも引いてしまうが、しかし目当ての情報は確実に入手するマヤ。

それによると……

▼SL2で得られる情報

(*9)ゲヘナの(*10)温泉開発部といえば、温泉を掘る為なら誰かの被害も迷惑も省みないキヴォトスの生きた災厄の集まりとして悪名高い。

だが、そんな彼女たちの破壊的温泉掘りでは、時として妙なモノを引き当てることもあるという。

最近「ニムルドレンズの欠片」が出土したというし、より深くを掘れば完全なレンズが出土するかもしれない。

↓以降、ゲヘナ「中央運動場」へ移動するとイベント「●開発の手伝い」が発生する

▼SL3で得られる情報

温泉掘りに必要なのは直観ではなく知識だ！

この情報によればこのあたりにオーパーツが埋まってそうなんだが……

↓「●開発の手伝い」での判定の成功率が+1される。

▼SL4で得られる情報

温泉掘りに必要なのは情熱ではなく知識だ！

この体勢で掘り進めれば、肉体への負担が軽くなるだけでなく、ダイエット効果もあるというが……

↓「●開発の手伝い」における「肉体」を用いた判定の難易度が1点減少する。

ということ、ゲヘナ学園の「中央運動場」に手掛かりがあるということが判明する。情報はこれで問題なし、続いて情報ハプニングの処理に入るが……。

△BCDice：最良マヤ△：Satasupe：情報ハプニング表／「教養」：8.O.Sの不調。徹夜で再

インストール。この日はもう行動できない上、「無理」をしてしまう

DD：ぐえー！

マヤ：ぐえー！

レイ：結構重いやつ来たな……

マヤ…では情報を得た瞬間PCがブルースクリーンに…

マヤ…携帯でレイちゃんに得た情報を送った後、ウタハさん助けて…助けて…と完全に素に戻ってOS再インストール終了します

DD…かわいそ…

マヤ…しかも多分2台とも逝かれてるんですよねこれ

レイ…「ええ！トラブル発生い〜？」

マヤ…「とりあえず情報は得たから…私はパソコン直すから…パソコン2台直すから…うえっ、ぐすっ」

レイ…「…あとで甘いものもっていくからねえ〜」

マヤ…「ありがと…ありがと……」

痛ましい事故こそ発生したものの、向かうべき場所は決まった。

傷心のマヤを残し、レイは問題のエリア、ゲヘナの中央運動場へと向かう。

(*) (9) ゲヘナ

ゲヘナ学園。自由と混沌、そしてトラブルが渦巻く無法極まりない危険な学校。生徒たちの規則無視は当たり前で、抗争や襲撃はもちろん、中には他校の生徒を誘拐して身代金を稼ごうとする者までおり、評判はよろしくない。

(*) (10) 温泉開発部

そんなゲヘナ生徒の中でも特に無軌道な破壊活動を繰り返している集団。

名前の通り温泉開発を目的としており、そのためならたとえ開発予定地が道路だろうと住居だろうと関係なく爆破、邪魔する者は武力で制圧してでも開発を押し進めるという迷惑集団。

▼ゲヘナ中央運動場にて

(*11)下倉メグ(メグ)：「今日も今日とて開発日和！」

DD：では中央運動場へ移動しますと

DD：悪名高い温泉開発部が運動場の中心でガヤガヤと騒ぎ立てているのが見えてくる

レイ：「今日もやってますねえ、順調ですかあ？」

メグ：「や、順調順調！」

メグ：「……って言いたいんだけどねえ、実はあんまりなんだよね」

レイ：「ふむふむ、それじゃあ人手が必要だったりするんじゃない？」

メグ：「お、話が早いね！まさに今！人手が足りないんだよ！」

レイ：「それはよかったよお。ちょっとこちら辺で探し物があつてさあ、そのついでに手伝いに来たんだよねえ」

レイ：「ちょっとこちら掘っちゃってもいい？」

メグ：「オッケーオッケー！そう言う事ならこれ、どうぞ！」

DD：というが早いのか、ツルハシを押し付けられます

メグ：「さあ！ガンガン掘ってどんどん掘り当てようか！」

と、ツルハシを渡され、開発の手伝いに駆り出されることに。

その内容は「肉体」で難易度9の判定を行うと、その成功率に応じたレンズが手に入るというもの。

OSを犠牲にした情報収集によって難易度は減少、成功率は既に+1、という追い風の状況を活かし、レイはここで勝負に出る。

レイ：「ここで難易度をさげるぜー！」

レイ：「七つ道具…指定アイテム消費で判定の難易度 1

レイ：「猿の手…判定の難易度 2(3回まで)

DD：なぞ

レイ：「これで難易度は5だ！肉体は6だから、判定回数6で5成功すればいいわけだ

レイ：「気合でブーストを2点分しちゃうぜー！」

【七つ道具】と八猿の手Vを使用して難易度を一気に下げ、得意な〔肉体〕判定で一気に成
功度を稼ぎに出るレイ。

△BCDice：隠形レイ△：Satasupe：【難易度5、ファンブル率1、必殺なし】 ↓ 0 [1 1]
↓ 成功率 0 ↓ ファンブル

マヤ…(*12)あっ

マヤ…絆！

レイ…絆！絆！

しかし結果は初手ファンブル。

これは流石に看過できず、その後表で修得していた【絆】の使用に踏み切ることに。
OS修理中のマヤから電話が飛ぶ。

マヤ…「だ、大丈夫!?　なんか嫌な予感がしたから電話かけたんだけど!」

レイ…「いや、今の電話が無かったらガスを掘りぬくところだったよお」

レイ…「ガチャバクね?」

マヤ…「いやいやいやいや!?　なんでそんなところ掘ってるんですかあなた達!」

マヤ…「温泉が出るような所狙って掘ってるんですね!　いやレンズが出る時点でなん

かもう既に色々間違ってるんですけど!」

メグ…「やだなーそんなの決まってるじゃない!」

メグ…「何故なら!　そこに温泉の可能性がある限り!」

メグ…「(*13)温泉開発部を止めることは出来ないのだから!」

マヤ…「話聞いている限り可能性無さそうなんですけど!」

レイ…「まあゲヘナの運動場直下だしねえ、人骨が出てきても怪しくなくらいの場所だ
よねえ」

マヤ…「と、とにかく今度は気を付けてくださいね!　パソコンも相方も爆発とか勘弁し
てくださいよ!」

レイ…「まあマヤちゃんの声聞いてやる気出したい、もうひと頑張りしますかねっ」と

マヤ…「ってああ!　今度はこっちのパソコンから煙があ!　ってことで切るね!」とおし
まい

危ういところで爆発事故を躲した2人。【絆】による振り直しの結果は5成功!

DD：それではレイさんがツルハシを片手に採掘作業を進めてゆくと
DD：カツン、という小気味の良い音と共に土壁の一端が崩れ落ちます
DD：中には古代の遺跡の一室らしき石組の壁が……
DD：そしてその奥に、きれいなレンズが静置されているのが見えるでしょう

メグ：「あれ〜？ また変な遺跡掘り当てちゃった……」

レイ：「運動場の真下に遺跡があるとはねえ…ガチでヤバいもん掘り当てちゃったかあ」

レイ：「それはそうと目当てのものは見つかったよお〜」レンズを手に取ります

メグ：「あ、探し物ってそれだったんだ？」

メグ：「いいよいいよ、上げるよそれ！」

レイ：「いいのお？ やったあ！」

レイ：「これでまやっちへの手土産ができたよお〜」

メグ：「こういうのが出てくるといっても風紀委員会が出てきてさ〜」

メグ：『貴重な文化財だから保護しろ』だの、『予算は出せないから手弁当で』だの……」

メグ：「私たちは温泉以外に興味ないし、適当に持って行っちゃっていいからさ」

メグ：「じゃ、お目当ても見つかったらいいし、バイト代はそれってことで！」

メグ：と手を振ってお別れ

レイ：「まあ温泉は掘り当てられなかったけど、そろそろ帰るねえ。お疲れさまあ〜」

レイ：「いいねえ、ありがとお〜」

最高精度のレンズを手に入れたレイは、マヤとの相談の結果、彼女が行動できるまで待つからウタハへ納品に行くことに決定。

期日となる「2日目の夜」まで、しばし休息をとって体を休めることに。

(* 11) 下倉メグ

「温泉開発部」所属の3年生。楽天的かつ押し強い性格で、例え他校の生徒会長相手だろうと関係なく温泉開発を強制し、戦闘では背中に背負った火炎放射器で一帯を焼き払うなど、危険集団温泉開発部の中でも一際強烈な部員。

(* 12) あっ

この時、ユドナリウムの機能を用いた演出として劇中BGM「Unwelcome School」が流れていた。

DD: やっぱ社長のテーマが流れてるだけでそれっぽくなるな…

レイ: あの顔が容易に想像できる

マヤ: 社長のテーマという訳ではなかったはずだが社長に似合い過ぎる…

(* 13) 温泉開発部を止めることは出来ないのだから!

作中では高速道路のド真ん中を多目的榴弾で爆破し、他校の敷地内を許可なく開発、果ては周辺地域が大変になることを承知の上で地下マグマを爆破で刺激、一帯を温泉郷に変えようとするなど、多数の事件を引き起こしている。

◆期日

DD：期日、つまり2日目の夜。

DD：夜間でもなお明るいミレニウム実習センターの内部で、

ウタハ：「これは……予想以上の精度だ……！」

ウタハ：と、お二人の持ってきたレンズを見ています

レイ：「ふふふ、謎の古代っぽい遺跡が持ってきたガチモンだからねえ」

マヤ：「レイちゃんありがとね、あんな変な情報からきっちり依頼のもの手に入れてくれて」

ウタハ：しばしレンズを検分した後

ウタハ：「うん、これくらい綺麗ならすぐにでもテストが開始できる……少し待っていてくれるかな」

DD：というと、二人を残して奥へ行ってしまいます

マヤ：「……なーんだか嫌な予感があるのよねー、映画とかだとこういう所からロボが暴走しちゃってさー」とニ丁拳銃のコブラとエメラルダの点検をします

レイ：「いやー、そんなベタなことないでしょー」

レイ：「ジニーっちは心配性だなあー」

マヤ：「でもキヴオトスだよ？ 天才メカニックも巨大ロボも覆面銀行強盗も、なんなら少女悪党なんて2組も居るキヴオトスだよ？ ベタなことが起こってもおかしくないし……」

レイ：「あはは、そんなまさかねえー」

マヤ：「少女悪党って言ったけど私以外に何人いるんだろう。戦車盗んで海に行った子とか居るって聞いたし……」

レイ：「ゲヘナを探せばいくらでもいそうな気はするけどねー。その戦車の子の話もゲヘナ……?」

マヤ：「いやあれ確か(*14)トリニティの後輩だったと思うんだよねー、ブラックマーケットでもたまに見る子のはず」

レイ：「お嬢様学校の子がブラックマーケットなんて入るんだねえー。トリニティ生にしては度胸あるじゃん」

マヤ：「まあトリニティ生でも私みたいなのも居るし……いやでも私も制服のままはうろつき

たくないなあ」

レイ：「どう考えても、いいカモだもんねえ」

DD：と、2人が世間話をしていた時……

DD：ふっ……と、一瞬実習センターの電灯が消える。

ウタハ：「すまない、待たせてしまったね」

DD：再び電灯が灯り、部屋に明るさが戻った時……

DD：2人の目の前に、妙な物体が鎮座していた。

マヤ：「何これキモッ!?!」

レイ：「かわいい(*15)ペロロロボだねえ。再現度高いよお」

マヤ：「えっ!?!……ええッ!?!」

ウタハ：「昨日、最良……いや、ディザスター・ジニーが言っていたことがずっと心に引っかかっていたんだ」

ウタハ：「もしも対象が装甲服を着用していたら？」

ウタハ：「もしも、誤って子ども相手にレーザーを放ってしまったら……?」

ウタハ：「こういった疑問点、不安点を潰すにはどうすべきか？」

マヤ：「(や)っぱりあんなこと言わなきゃ良かったーッ!?!」

ウタハ：「それはもつとも単純なやり方……テストを繰り返すしかない」

ウタハ：「不審者を確実に足止めするためのストッピングパワーを保ちつつ」

ウタハ：「それでいて庇護対象を見分け、確実に保護する……難しい課題の両立だ」

ウタハ：「けれども、マイスターとして……そしてエンジンニア部の名に懸けて」

ウタハ：「私はこの“ペロロ・ロボ”を完璧に仕上げる義務がある」

ウタハ：「……ということだから、少しばかり協力してもらおうよ」

ウタハ：「っこりと微笑んで」

ウタハ：「先生推薦の二人だ。テストの相手として申し分ない……さあ、始めようか!」

マヤ：「『どうしてこうなるのーッ!?!』と社長みたいな顔になって」

マヤ：「……いや、私は少女悪党ディザスター・ジニー。こんな紛い物の渡り鳥風情に遅れを取る漢女なんかじゃ、ないッ!!」

マヤ：と二丁拳銃(拳銃ではない)のコブラとエメラルダを構え、足元のキックボードを動かさず

マヤ…「さあ来なさいッ！ テストだろうと容赦なんかしないわッ!!」

レイ…「おぉ、ジニーっつかっこいいねえ」

レイ…「わたしも頑張りますかぁ。正面から戦うのはあんまり得意じゃないけどぉ、ゲヘナ生の端くれとして少しは暴れたりもできるんだからねえ」

レイ…「作戦開始だよぉ〜!」

H&K MP5を構えて、潜入用コスチュームに早変わりする

ウタハ…「うん、用意」はどちらも大丈夫みたいだね」

ウタハ…「こちらもレンズは問題ない……」

ペロロ・ロボ…シュルル…と空気アクチュエータの作動音と共に、ゆっくりと眼が開いてゆく

ウタハ…「さあ……暴れろ!」

(* 14) トリニティ

トリニティ総合学園。大きいチャペルが特徴的なキヴォトス最大級の学園の一つ。文武両道を範とし、優雅で善良な生徒が多い、いわゆるお嬢様学校。校風的にゲヘナとは相性最悪。

全体的におしとやかな雰囲気纏っているが、内部抗争は激しく、一筋縄では行かないところがある。

(* 15) ペロロ

キヴォトスで人気のアニメ「モモレンズ」に登場する、鳥をモチーフにしたらしいマスコット。街中でゲリラライブが開催されても即人が集まる程度には人気なキャラだが、一部生徒を除くとその評価は「気持ち悪……不思議な見た目の鳥さん」「風紀委員の中にはかなり嫌がられる方もいる」といった程度。

▼血戦

今回のジオラマは次の通り。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	■	■	■	■	■	■	■	■
2								
3			△	△	△			爆
4			△	ペ	△		△	爆
5			△	△	△		△	
6			△		△			
7			マ			レ		
8								
9		△					△	
10		△					△	
11								

- △ … 障害物
- 爆 … 爆発物
- … 奈落
- ペ … ペロロ・ロボ
ペロロミニオン×2
障害物
- マ … マヤ
- レ … レイ

「障害物」の上に「スター」のペロロ・ロボ含めた3体が陣取る厄介な図。
 亜狭たちが持ってきた最高品質のレンズを装備したことで、攻撃面も大幅に強化された
 ロボを相手に、一番手を取ったのは「反応力8」のマヤ！

マヤ… 遮蔽物で難易度+2なら足りるッ！

マヤ… M2ブローニングとカラシニコフの二丁拳銃！

マヤ… (*16) 甘味使用しつつ精神点10点ぶっこむ！

DD… なぞ こいやー！

「両手攻撃」に【阿修羅】【戦騎】を乗せて障害物による命中難易度上昇を打ち消し、こ
 こでマヤが取り出したのは……。

マヤ… 難易度は7で攻撃力は通信教育から5+精神点10点分

マヤ：難易度7をイカサマサイコロで自動成功！ 基礎10点+15点の25点ダメージで消し飛ばす！

DD：わあ…わあ…

★ペロロ・ロボ：装甲で3点減少！

★ペロロ・ロボ：22点を飛ばす！

★ペロロ・ロボ：(5)R≦22 [1,2]「跳ぶ」

△BCDice：★ペロロ・ロボ△：Satasupe：【5R≧22 [1,2]】 ↓ 難易度が12を超えたため、超過分、ファンブル率が上昇！

【難易度12、ファンブル率12、必殺なし】 ↓ ファンブル率が6を超えたため自動失敗！

★ペロロ・ロボ：飛べるわけねーだろ！

★ペロロ・ロボ：22点くらって致命傷表！

★ペロロ・ロボ：Fatal「致命傷表」

△BCDice：★ペロロ・ロボ△：Satasupe：致命傷表7:大怪我で行動不能。1D6ターン以内に治療し、「肉体点」を1以上にしないと体の部位のどこかを欠損してしまう。任意の「能力値」1つが1点減少。

★ペロロ・ロボ：ダウン！

マヤ：行動不能ヨシ！一騎当千！

まさかの初撃で2ヶタという圧倒的なダメージにロボはあえなく撃沈！
行動不能にしたことで【一騎当千】が起動し、更に攻撃は続く！

マヤ：さあ今度はミニオンの方だ！

マヤ：精神点9点消費してフル！

【血の饗宴】によって全回復した精神点をつぎ込んだ上で、カラシニコフの「フル」を起動。
計13回の命中判定を2体のペロロ・ミニオンに7回と6回で振り分ける！

△BCDice：最良マヤ△：Satasupe：【難易度7、ファンブル率4、必殺なし】 ↓ [1,4,5]+
0[4,2]+0[3,1]+0[5,1]+1[2,6]+0[4,1]+1[2,6] ↓ 成功度3

マヤ：13点ぶっぞぞ！

ペロロ・ミニオンA：13かー！ 跳ぶしかないなこれ！

【難易度12、ファンブル率3、必殺なし】 ↓ 0[3,6]+0[2,2] ↓ 成功度0 ↓ ファ

ンブル
ペロロ・ミニオンA…はい…

こちらもあっけなく撃沈し、最後のペロロ・ミニオンに弾丸の嵐が襲い掛かる！

△BCDice：最良マヤ△：Satasupe：【難易度6、ファンブル率4、必殺なし】 ↓ 0 [2 2]

↓ 成功率0 ↓ ファンブル

マヤ…あー！

レイ…絆！絆！

DD…使おうぜ…絆！

マヤ…絆！ 絆使います！

DD…オッケ！ 振り直しどうぞ！

マヤ…「私の人格が仮初のものでモッ！ 今この手にある銃（力）は本物ッ！」

マヤ…「立ちはだかる敵を撃ち抜く為のものだッ!!」

マヤ…6▽≡6 [4] 喰らえー！

△BCDice：最良マヤ△：Satasupe：【難易度6、ファンブル率4、必殺なし】 ↓ 0 [3, 1]+1 [4, 5]+1 [4, 6]+0 [2, 1]+1 [3, 4]+1 [3, 3] ↓ 成功率4 ↓ ファンブル

23

ここで痛恨の（*）17（命中ファンブル2連発！ 限界まで精神点をつぎ込んだこともあり、逆転すら出来ないマヤはやむを得ず「命中ファンブル表」を選択。

結果は「誤って自分を攻撃。3ダメージ（セーブ不可）」！

マヤ…まあ逆に言えばこの程度で済んで良かった…

レイ…行動します！

ラスト1体は仕留め損ねたものの、二番手はレイ！

左に2マス移動してミニオンを狙う！

レイ…ミニオンBにH&K MPP5で攻撃！

レイ…猿の手…判定の難易度 2（3回まで）

レイ：七つ道具・指定アイテム消費で判定の難易度 1
レイ：ジャリ銭破壊！
ペロロ・ミニオンB：こい！

難易度を3点減少させた判定は、しかしここでもファンブル！
命中ファンブル表の結果は「自分の持ち物がすっぽぬけ、偶然敵を直撃」！
ランダムなキャラ1体を行動不能にするハイリスクハイリターンな出目に。

レイ：……どう思う？

マヤ：敵を直撃って書いてあるけどこれ通せば勝ちじゃない？

レイ：行動不能も含むと1〜5なのだから含まなくても1〜3なのだ

マヤ：そっかキャラクターだもんな…こっちにも飛んで来る可能性あるよな…

レイ：ヨシ！逆転だ！

BCDice：隠形レイ：Satasupe：(1D6) ↓ 5

レイ：ぐえー！

DD：重い！

マヤ：重い！

コストは重いが逆転で1成功をもぎ取り、ミニオンに7点のダメージが飛ぶ！

【弱虫】なミニオンはこのダメージで「モラル判定」に！

ペロロ・ミニオンB：SR7 「性業値判定」【弱虫】

BCDice：ペロロ・ミニオンB：Satasupe：〔性業値〕7、「修正値」0 ↓ ダイス結果…

(7) ↓ 7 + (0) = 7 ↓ 「迷」

ペロロ・ミニオンB：ぎゃあああ！

が、性業値7ということもあり「迷」で行動不能に

この時点でペロロ・ロボ、ミニオン2体全員が行動不能となり、血戦は亜使たちの勝利で幕を閉じた。

ペロロ・ロボとミニオンはその機能を停止し、実習センターの床に倒れ込む……。

ウタハ…「参ったな……それなりに健闘してくれるとは思っていたんだけど」
ウタハ…「まさかここまで一方的にやられてしまつとはね、とため息を吐く」
ウタハ…「……負けたよ。だけどとてもいいデータが取れた。ありがとう」

マヤ…「ま、少女悪党に美少女スパイのタッグには流石に勝ち目がなくなつて仕方ないわよ」
レイ…「うん、次からはそこも含めて依頼にしてほしいねえ」

ウタハ…「うん、そこは反省してる。少し急ぎ過ぎたね……」

ウタハ…「さて……これで問題の洗い出しは出来た。あとはひとつひとつ直していくだけだ」
マヤ…「……でもこれ以上耐弾性上げられると正直困るわよ」

レイ…「ジニーっちの攻撃を耐えられるなんて普通ありえないからねえ」

レイ…「それこそ戦車をもつてこないとなんじゃない？」

ウタハ…「戦車か。確かに……砲の直撃を耐えられる装甲があれば、いざという時に子供たちを守るのも……」

マヤ…「このコブラとエメラルダは(*18)世界一強力な拳銃なのよ？ 戦車にだって風穴空けられるわ」

ウタハ…「……そうだね。目の当たりにしてわかつたよ。あれを装甲でどうにかするのは難しそうだ」

ウタハ…「とするならば、むしろ先制して不審者を無力化する方向に……うん、これならいけそうだな」

マヤ…「まーた不穏な方向で色々考えてるー」

ウタハ…「ふふ、マイスターの癖みたいだね……っと、そうだ」

ウタハ…「ロボの検査を終えたウタハは、立ちあがって2人の前まで来る」

ウタハ…「あらためてお礼を。レンズの、それからテストについて。本当にありがとう」

ウタハ…「貴女たちのおかげで、よりよいモノを作り上げることが出来そうだよ」

マヤ…「それなら尽力した甲斐もあったつものよ！ ……これまでの結果を顧みるどころくなことにならなさそうってのはともかく」

レイ…「そうだねえ、よかつたら今度のテストも呼んでよ。またテストに付き合っただげからさあ」

ウタハ…「そうかい？ なら次は雷ちゃんのパフォーマンスも頼もうかな……」

ウタハ…「と、それじゃあそろそろ……」

ウタハ…「さつと片手で髪を払うと」

ウタハ…「さあ、改造したいモノがあれば言ってくれ。どんなものでもお好きなように、ね」

マヤ…「じゃあエメラルダの取り回しをもうちょっと良く出来ないかしら、コブラはこれ以

上火力上げてでも大したこと出来なさそうだし…」

マヤ…とか言いながら自身の愛銃の調整について話を始めておしまいです

レイ…「うちのH&K MP5も威力上げてほしいんだよねえ、ジニー…っみたいに火力出したくてさあ」みたいな感じで話に加わる！ 以上！

DD…その後、エンジニア部のマスコットロボは各学区の会場に配置され

DD…その異常なまでに膨れ上がった装甲と素早い動きによって、不審者を圧倒したという
…

THE METAL PERORO 完

(* 16) 甘味

「キヴォトスぺ」における「お酒」の代替アイテム。精神点が1点回復するが、1日に「肉体」個までしか消費出来ない。

オオサカとは違い、キヴォトスでは未成年の飲酒が原則禁じられており、通常ルートではその入手すら難しい……が、中には限りなくお酒に近い何かを密造する生徒もいたりする。

(* 17)

命中ファンブル2連発

この時のBGMはもちろん…

マヤ…いやまあ全体的にファンブルが多かったですね…

レイ…サタスぺぼさがマシマシなダイス目だった

マヤ…ファンブル率4のマヤ以外までファンブルしまくるとは思わなかった

DD…やっぱ社長のテーマはファンブル率を高める効果があるのでは…

(* 18) 世界一強力な拳銃

マヤ…拳銃じゃねえよ

DD…そうだね×1

レイ…ドアノッカー！ドアノッカーです！

◆アフタープレイ

シナリオが終わってもまだ安心はできない。

中毒判定に代償処理、そして通称ラスボスこと「その後表」が控えている。

まずは中毒判定から。キヴォトスではドラッグの類を使用できるタイミングが少ないが、「甘味」の中毒になる可能性は存在する。

マヤ：甘味使った！

△BCDice：最良マヤ△：Satasupe：【難易度7、ファンブル率1、必殺なし】 ↓ 0[3,1]+0[1,3]+0[3,1] ↓ 成功度0

マヤ：あっ

マヤ：甘味中毒に…

マヤ：太っちゃう…

レイ：ムチムチになってしまっ

マヤ：(*19)体重一〇〇kgになっちゃう…

甘味中毒者が1名誕生したことを除けば平穩無事に終了し、続いては「その後表」。

レイ：After―その後表

△BCDice：隠形レイ△：Satasupe：その後表9：色々な運命を感じる。今回のセッションでトリコができていた場合、経験点の消費なしにそのトリコを常備化することができる。また、自分が誰かのトリコになっていた場合、その人物への【トリコ】(p.95)の代償を得る

マヤ：After―

△BCDice：最良マヤ△：Satasupe：その後表7：今回の事件で様々な教訓を得る。自分の修得しているアドバンスドカルマの中から、汎用以外のものを好きなだけ選ぶ。そのカルマの異能と代償を、別な異能と代償に変更することができる

これも特に問題なく終了となった。最後はスピークイージーとMVP！

▼最良マヤ

○投票結果…殺し屋、殺し屋、キジルシ

マヤ…一応本を読んだら思い込みで〜ってキャラは元ネタがあるのですが
マヤ…それを除いても大型火器を拳銃と言いつける頭の悪さとか色々キヴォトス民らしいこ
とが出来て良かったと思います

マヤ…何よりBGM変更してから格好いい啖呵からのファンブルは完全に目論見通りでし
た

マヤ…とにかくキヴォトス民らしいことが出来て楽しかった半分、思い込みで色々出来る
キャラはもうちょい活かしたかった！という悔しさ半分でした 以上になります

レイ…非常識な武器を持った常識人ロールも良かった…

キヴォトスの良心で感じ

レイ…終始ツツコミ役だった気がするし

DD…キヴォトスとサタスベが合わさると恐ろしいことになるんだなあ…

ということで、再投票の結果は「殺し屋」に。

▼隠形レイ

○投票結果…情報屋、情報屋、情報屋

レイ…今回やったこと！

情報収集の足場作り！

イベントの温泉採掘！

血戦での撃ち漏らしの処理！

レイ…全体的に裏方だったかなって感じで、スパイらしさが出せたのでキャラ的にかんぺき
〜だったと思います！

レイ…口調がちょっとブレてたのは忘れてほしい…：ギャルっぽい口調難しいね！

一人称の“ウチ”と語尾を小さくして伸ばすくらいしか思いつかなかったやつ！

レイ…あとはキヴォトス風な価値観のキャラをロールできたかなって満足感があります！

DD…DDとしては衣装替えの辺りをもうちょっとNPCとかで反応したかった…！

DD…なんかいろいろ設定ありそうですし

マヤ…ダクトに入って覗き見とか色々やってたのもっと色々見てみたかった！

ということでも再投票の結果は「情報屋」に決定。
MVPは戦闘での暴れっぷりが鮮烈だったか、マヤに2票が入って決定となった。

(*19) (体重100kgになっちゃう…
ヴェリタスによる健康診断データ改竄の結果、ある生徒の体重が100kgとして記録されたことを指す。

かんぺき～



◆終わりに

回してみるまではわからなかったミスや説明がポロポロ出てきて滅茶苦茶焦った場面も何度かありましたが、ともあれ最後まで回すことが出来てよかった！

最後になりましたが、長時間お付き合いいただいたPLのお二方に改めてお礼を。

本当にありがとうございます！